三郷市立彦糸中学校グランドデザイン

埼玉県5か年計画（令4～令和8年度）
【第3期　生きる力と絆の埼玉教育プラン】
埼玉県教育振興基本計画（令和６～令和１０年度）
基本理念：豊かな学びで　未来を拓く埼玉教育

目標Ⅰ　確かな学力の育成
目標Ⅱ　豊かな心の育成
目標Ⅲ　健やかな体の育成
目標Ⅳ　自立する力の育成
目標Ⅴ　多様なニーズに対応した教育の推進
目標Ⅵ　質の高い学校教育のための環境の充実
目標Ⅶ　家庭・地域の教育力の向上
目標Ⅷ　生涯にわたる学び推進
目標Ⅸ　文化芸術の振興
目標Ⅹ　スポーツの推進

校　訓　「大樹に育て」

学校教育目標
磨き合う　・学ぶ糸中　・心の糸中　・鍛える糸中

三郷市教育施策大綱
三郷市教育行政の基本方針
本気の教育が子供を変える
令和の日本型学校教育の推進
○個別最適な学び・協働　的な学び
○ICTの活用
○教師の資質能力の向上・働き方改革
◇三郷の教育「四つの礎」
◇学力を確実に伸ばし、夢を持ち、自立した人間の育成
◇「第２次日本一の読書のまち三郷推進計画」
◇グローバル社会と情報社会に適応できる人材の育成
第3期学力向上推進3カ年計画

児童生徒	教職員
○自ら課題を発見し、主体的に学習できる	○情熱を持ち、幅広い教養と専門的な知識・技能
○社会性を身に付け、約束やきまりを守ることができる	○子どもの心に火をつけ、夢を育む
○自他を認め、肯定できる	○一人一人に寄り添い、よさを認め成長を支える

《めざす生徒像》
・夢や目標を持って真剣に学ぶ生徒
・心身ともに健康でたくましい生徒
・礼儀正しく規律を守る生徒
・よく働き責任を果たす生徒
・人や環境を大切にする生徒

《めざす教員像》
●生徒のよいところを発見し、生かす教師
●生徒の変容を期し、常に研修に努める教師
●生徒の声に耳を傾け、生徒と一緒になって考える教師
●時を守り、場を清め、礼をつくす教師
●保護者や地域の人に信頼される教師

日々の教育指導
すべての教育活動は「学校教育目標の具現化」へ

1　学ぶ糸中
○ 学力がつかないと学校はつまらない
・基礎・基本の着実な定着
→学習習慣づくり（学校は授業が根幹）
・「指導」こそ教師の仕事
→教えるべきことはしっかり教える（指導をためらわない）
→きめ細かな配慮、分からない児童への個別指導
→補完補習の実施

2　心の糸中
○ 友だちや先生との人間関係が良くないと学校はつまらない
・良好な人間関係の確立
→「いじめ」、「からかい」「いじり」等は絶対に許さない
・児童との距離を近くに
→けじめをつけさせ、温かく、時には厳しく、フォローアップを忘れずに
→アンテナは高く、情報は広く、言葉かけを大切に

3　鍛える糸中
○ がんばることがないとつまらない
・健康で規則正しい生活
→学校生活の充実（時間を守る、きまりを守る、場を考えた行動ができる）
→生活リズム（食事、睡眠、生活習慣）
・体力の向上
→運動好きな生徒（思いっきり汗をかき、力いっぱい運動する生徒）の育成
・安全な生活
→学校生活、登下校、日常生活での安全と安心

学校研修
【 研究主題 】三郷市学力向上研究　令和5・6年度委嘱
「未来を切り拓く力を育成する教育の推進」（１年次）
～学習意欲を引き出し自己デザインを高める指導法の工夫～

・授業改善
・ICTの積極的な活用
・校内の環境整備

彦糸中「すごいぞ7か条」
1 学校読書活動の深化
※いつでも本を手にできる（読書密度の向上）
2 やればできる子供たち
※集中清掃、体力向上　など
3 環境教育・安全教育の推進
※ゴミのない教育環境、交通事故防止等の安全指導
4 教職員の協働体制
※スピード・スマイル・スピリットで実行力ある教職員
5 子ども、保護者、地域との人間関係を大切にする学校
※けじめの中に優しさを持ち、子どもとの距離を縮める
6 保護者・地域とともに多様な教育活動を進める学校
※地域貢献部、PTA、地域への情報発信と連携
7 地域で育つ明るい生徒
※ボランティア、あいさつ、素直な心、地域行事への参加

≪令和６年度重点目標、テーマ≫（学校像）

本気の教育　ウェルビーイングの向上　令和の日本型学校教育の推進
ICT の活用、授業改善、読書、夢への挑戦
「やればできる」（自信）　「自他の尊重」（思いやり）　「強さと優しさ」（成長）

《 令和６年度　５つの重点 》

【学力の向上】
（授業改善、ICT 活用、家庭学習）
◎ 授業改善（三郷の授業の基本）
◎ 「授業の心得」の確立
◎ 教職員表彰制度の活用
◎ 英語教室、数学教室の活用
◎ 基礎学力の定着
→確認テスト、補完補習（カゴスタ）の実施
◎ 数学科の少人数指導の充実
◎ 県・全国学力学習状況調査の分析と対策　→テスト前集中学習の実施（全学+4ポイント、県学伸び100%）
◎ 学校読書活動の深化（貸出数10%増）
→図書館を使った調べる学習コンクール
◎ 英検・漢検・数検への挑戦（生徒75%）
◎ ICTの活用→タブレットの積極的活用
◎ 家庭学習の習慣化
→「家庭学習ノート」の活用

【積極的生徒指導の推進】
（落ち着いた学校）
◎ チャレンジ3PLUSへの挑戦（入賞者の輩出）
◎ 自己肯定感を高める校内環境
→掲示物、ホームページ（新しい掲示物への一新）
◎ 教育相談部会の定期的な開催
→個々に対し、組織で対応
◎ 生徒のサインを見逃さない、素早く的確な対応
◎ 日頃からの生徒と教師の人間関係づくり
◎ 担任を中心にすべての教職員での対応
◎ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携
◎ 生徒面談、保護者面談の実施と活用→家庭との信頼関係
◎ 関係諸機関との連携（市教委、適応指導教室等）
◎ サポートルームの試行、充実

【小中連携教育の推進】
（小中及び地域とのさらなる連携）
＜学校運営協議会＞
◎ 学校運営協議会の定期的な開催
◎ 学校運営への提言、参画

＜地域連携＞
◎ 地域貢献部の活動、PTA等、地域行事への参加
◎ クリーン作戦への参加
◎ 育成会との連携

＜小中連携＞
◎ 小中合同研究会（いとさと会）の実施
◎ 小中職員合同研修会の開催
◎ 児童会、生徒会交流
◎ 小学校との英語教育の連携促進
◎ 出前授業の実施

【安心・安全な教育環境づくりの促進】
（教職員事故の根絶）
◎ 「心と体の安全点検」の実施と活用→いじめ撲滅（解消率100%）
◎ 教職員事故根絶を目指す研修の推進
コミュニケーションと教員版「心と体の安全点検」
◎ 生徒指導部会、教育相談部会の定期開催→組織で対応
◎ 毎月の安全点検の確実な実施
◎ 交通安全指導の充実
◎ 防災教育の充実
→避難訓練、ショート訓練
◎ 防犯教育の充実
→日常からの防犯教育
→素早い情報提供と注意喚起
◎ 感染症への対応
→自分を守る、他を助ける
◎ 保護者とともに学ぶ「SNS教室の開催」
◎ 不審者対応に関する教職員研修の実施

【特別支援教育の充実】
（人権教育の推進）
◎ ノーマライゼーションの理念に基づいた指導の充実
◎ 人権教育の推進
◎ 教室等、学習環境の整備
→ユニバーサルデザイン化
◎ 個別の学習プランA、Bの活用
◎ 親学級との交流促進
◎ 保護者との連携
◎ 適応指導教室、県立特別支援学校等、外部機関との連携
◎ 理解を深める職員研修の実施
→全校体制の確立
◎ 先進校等への外部研修の積極参加
◎ 市内特別支援学級との交流推進